



2020年9月30日

日立オートモティブシステムズ株式会社様佐和事業所における NAS電池エネルギーサービスの運用開始について

日本ファシリティ・ソリューション株式会社

当社は、日立オートモティブシステムズ株式会社様(プレジデント&CEO ブリス・コッホ)佐和事業所に設置されたNAS電池システムのリニューアルにおいて、東京電力エナジーパートナー株式会社(代表取締役社長 秋本展秀)と共同で、電力貯蔵システムの最適な導入手法や運用手法についてご提案させていただき、NAS電池エネルギーサービスをご採用いただきました。

本システムは、世界で初めて実用化したメガワット級の電力貯蔵システムで、デマンドリスポンス^{※1}に使用するほか、常時はピークカット^{※2}により電気料金の契約電力を下げ基本料金を低減いたします。

今後も当社は、エネルギーのベストパートナーとしてお客さまに信頼され、喜ばれる価値を創造することで明るく豊かな社会づくりに貢献してまいります。

本件は関係各社のホームページでもお知らせしております。詳細は以下をご参照ください。

日本ガイシ株式会社:

https://www.ngk.co.jp/news/asset/20200930_1.pdf

株式会社明電舎:

https://www.meidensha.co.jp/news/news_03/news_03_01/1234755_2469.html

以上

※1 デマンドリスポンス【DR: Demand Response】

需要家側のエネルギーリソースを制御して、電力需要パターンを変化させます。DRは、需要制御のパターンによって、需要を減らす「下げDR」、需要を増やす「上げDR」に区別されます。

※2 ピークカット

ピークカットとは、ピーク時の使用電力をカットして需要最大電力を低減することをいいます。



日立オートモティブシステムズ株式会社 佐和事業所 設置状況